

海外子会社の財務経理の実践的な改善方策 ～ 「何とか回している」状態から「安心できる」状態へ ～

海外子会社を持つ企業の方に、その子会社の財務経理管理の状況を伺うと、「ドタバタしながら何とか回しています」とのお答えをいただくことがよくあります。「何とか回している」状態は、何か大事が起こると、たちまち、うまく回らなくなってしまう、想定外の損失が発生するかもしれない状態でもあります。

例えば、売掛債権。引当金は積んでいます、というだけなら、実際に貸し倒れが発生してしまうリスクがあります。貸し倒れ自体を生じさせない工夫をしないと、安心はできません。あるいは在庫管理。実務体制が不十分ですと、ある日突然、巨額の棚卸差異が発覚するかもしれません。

本セミナーでは、そのほか、資金繰りや本社への資金還流、海外税務調査、移転価格など、海外子会社にとって特に重要な財務経理課題について、海外現法の財務経理に関与してきた講師が、多数の事例を紹介しながら、効率的で安心できる実務体制を構築するための方策を説明します。

海外子会社をお持ちで、「何とか回している」状態の企業の経営者や財務経理部門の方には、ぜひ聞いていただきたいセミナーです。必ず改善のためのヒントが得られます。少人数で、ご質問には随時お答えしながら進めていきますので、内容はよくご理解いただけます。

開催日時	2024年4月12日(金) 13:30 ~ 16:00 (受付開始 13:10 ~)
会場	日本陶磁器センタービル 会議室 名古屋市東区代官町 39-18 (http://www.toujiki.org/adress.html)
講師	深見 広彦 氏 (OBAC アドバイザー) 税理士。「海外監査」、「国際税務」を軸に独立開業。名古屋税理士会所属。 国際会計事務所のプライスウォーターハウス(現 PwC)にて会計監査、税務、カナダ駐在、HOYA(株)オランダ駐在では海外子会社統括に責任者として従事、矢崎総業(株)本社にて海外現法の財務プロジェクトに参画などの経験も持つ。
内容	売掛債権回収のリスク管理、在庫の棚卸差異分析、 資金繰り表の活用、キャッシュアップリングの導入、 本社への資金還流の検討、連結決算上の利益管理、海外税務調査の対処と管理、 海外の税務専門家との付き合い方、移転価格の攻略方法
参加費	5,500 円 (消費税込み)
定員	20 名
主催	(一社)海外事業支援センター(OBAC)
申込方法	下の参加申込書にて、開講日の 2 日前までに FAX でお申し込みいただき、当日直接会場へお越しください。(参加証等は発行しません。定員に達した場合その旨ご連絡します。)
問合せ先	(一社)海外事業支援センター(OBAC) Tel: 052-700-0479 Fax: 052-308-3213 Eメール: info@obac-nagoya.com ウェブサイト: http://obac-nagoya.com/ からもお申し込みいただけます。

……参加申込書 (切り取らずにお送りください。ファックス送信先 052-308-3213)……

会社名			
業種	<input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他()		
住所	〒		
フリガナ 参加者氏名	所属		
	役職		
Tel	Fax		
Eメールアドレス			

※お預かりした個人情報は適切に管理し本セミナーの運営に利用するほか、主催者が実施するセミナー等の案内に使用させていただく場合があります。